

本日、ここに、鹿島市議会令和6年9月定例会を招集し、諸案件についてご審議をお願いするものですが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

【SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について】

はじめに、SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について申し上げます。

いよいよ本大会の開幕まで約1か月となりました。「体育」から「スポーツ」に変わる新しい大会が佐賀から始まります。スポーツの楽しさ、素晴らしさが実感できるような新しい大会の開催に向けて準備を進めてきました。

市内各所に設置したのぼり旗で全国から訪れる方をお迎えし、また、訪れた皆様に「鹿島に来てよかった」と言ってもらえるよう特産品のふるまいなど競技会場外でのおもてなしも準備しています。これまで多くの方々にご協賛やご協力を賜り、誠にありがとうございます。

9月21日と22日に蟻尾山公園で開催される公開競技のグラウンド・ゴルフを幕開けに、10月5日から7日までの3日間は陸上競技場でのアーチェリー競技、10月11日と13日には市民球場で軟式野球、10月27日は全国障害者スポーツ大会のアーチェリー競技が開催されます。全国からの多数の選手団や、アーチェリー競技では国内トップクラスの選手たちが鹿島に集結し熱い戦いを繰り広げられます。

また、明日9月4日には鹿島市民文化ホールSAKURASで「SAGA2024鹿島市団結集会」を開催します。大会の成功に向け市民の皆様と気持ちを一つに盛り上げていきたいと思っています。ぜひご来場ください。

この夏は、世界や全国を舞台に鹿島の中学生や高校生、20代の選手が大

活躍されました。

中学生では、第32回全国中学生なぎなた大会団体の部で濱本あみかさん、大谷実穂さんが3位に入賞され、第17回全日本ジュニアテコンドー選手権大会では川島真友さんが準優勝の成績を収められました。全国中学校体育大会には、柔道女子52kg級の^{おおしま}大島しおりさん、ソフトテニス女子ダブルスの^{のなかりほ}野中梨穂さん、^{たがわりこ}田川莉子さんが出場されました。

高校生では、全国高等学校総合体育大会でなぎなた競技の^{おおたにまお}大谷舞桜さん、ウェイトリフティング競技の^{まつおかな}松尾環那さんが優勝、レスリングの^{しらかわやまと}白川大虎さんは3位入賞の優秀な成績を収められました。

また、パリオリンピック男子サッカーには、^{ひらかわゆう}平河悠選手が16年ぶりの鹿島市出身オリンピックアンとして出場されました。皆さんのさらなる飛躍を期待しています。

選手たちの躍動と活躍は、私たちに大きな感動と勇気をもたらしてくれます。SAGA2024のその先を見据え、今大会を元気な鹿島を次世代へつなげていく活力とし市政の発展に取り組んでいきます。

【地域防災力向上の取組について】

次に、地域防災力向上の取組について申し上げます。

去る7月28日、佐賀県消防学校で第38回佐賀県消防操法大会が開催され、小型ポンプ操法の部に鹿島市を代表し北鹿島分団が出場されました。出場11隊中、見事に準優勝の成績を収められました。

約3か月の訓練期間中、私も激励に訪れましたが、ご家族や職場、地域のご理解とご協力のもと出場予定の選手と分団員全員が一致団結し厳しい訓練に励まれ、その成果が今回の結果につながりました。北鹿島分団をはじめ関

係者の皆様には、改めて敬意を表したいと思います。

この大会を通じて、技術力の向上はさることながら、団員同士の絆が深まり消防団の一体感、連帯感の強化が図られたことと思います。技術力や組織力の強化は火災だけでなく風水害等の対応にも生きてきます。地域防災力の要である消防団におかれましては、地域の安全安心のため、今後の活動の中で今回の経験や成果を発揮していただくものと期待しています。

【市制施行70周年記念事業について】

次に、市制施行70周年記念事業について申し上げます。

「鹿島を盛り上げ、発信する」をコンセプトに様々な記念事業を展開しているところです。9月8日にSAKURASで開催する「第27回かしま伝承芸能フェスティバル」には、70周年を記念し友好都市である千葉県香取市から出演される^{さわらばやし}佐原囃子をはじめ全10団体が、日頃から培われた素晴らしい芸能を披露されます。ぜひご来場ください。

11月23日にはSAKURASで「70周年を市民の皆様と祝う記念式典」を開催します。自衛隊音楽隊と市内中学校ブラスバンド部のコラボレーションによる「音楽祭」や、九州初となる植物の力を利用して発電し光を灯す「SAKURASイルミネーション」の点灯式などを計画しています。

この記念式典では、市民の皆様が郷土愛を育むとともに鹿島の魅力を市内外に発信し、交流・関係人口の増加を目指す新たなプロモーション動画の放映や、記念冊子「かしまBOOK」のお披露目なども予定しています。この記念の年を、次代へつなぐ一歩とし皆様の笑顔があふれる年となるよう引き続き取り組んでいきます。

【脱炭素化の取組について】

次に、脱炭素化の取組について申し上げます。

この度、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の採択を受け、市民の皆様への太陽光発電設備等の設置補助をはじめ、重要伝統的建造物群保存地区内の建物や利活用できる空き家への高効率空調設備等の設置に対する助成制度の創設を行う予定です。

この交付金を活用し、学校施設や公民館などの公共施設へ高効率空調機器の導入も、順次進めていく予定としています。

また、脱炭素化の取組の一つである「紙おむつリサイクルプロジェクト」は、今後の本格稼働に向け「鹿島市・嬉野市・太良町使用済紙おむつリサイクル検討会」を立ち上げ、将来的な実現可能性について検討を進めていきます。広域連携によるスケールメリットも活かしながら地域の資源循環を促進し脱炭素化の取組に力を入れていきます。

【デジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組について】

次に、デジタル・トランスフォーメーション（DX）による市民生活の利便性向上の取組について申し上げます。

市の公式LINEでは、お住いの地区のごみ収集日や災害時の避難情報などのお知らせ機能をご利用いただいています。8月1日からは機能を拡充し、住民票の写しや納税証明書などの交付申請、市民体育館などの公共施設の予約ができるようになりました。今後も市民生活の利便性と行政サービス向上のため、いつでもどこでも市役所の手続がお手持ちのスマートフォン一つでできる「てのひら市役所」の取組を進めていきます。

この「てのひら市役所」をより多くの方々にご利用いただくため、公式L

I N E の機能や操作に関する出前講座や相談会も開催しています。デジタルに不慣れな方も安心して使っていただける取組も進めていきます。

9月からは市役所窓口での手数料支払いキャッシュレス化も行いました。窓口で現金を取り扱う機会を減らし業務の効率化を図り、その分をより丁寧な窓口対応に努めることで誰もがデジタル化の利便性を実感していただけるよう取り組んでいきます。

今後とも市民に寄り添いながらD Xの普及と推進に取り組むことで、誰一人取り残さない地域社会の構築と豊かな市民生活の実現を目指していきます。

【「むしろこれから鹿島・太良」の取組について】

次に、「むしろこれから鹿島・太良」の取組について申し上げます。

7月に開催しました「むしろこれから鹿島・太良フォーラム～肥前鹿島駅から始まる沿線スローツーリズム～」では、山口知事と若手経営者の皆さんがこのエリアの可能性について語り合われました。地域の日常のありようが地域外からの視点や来訪者にとっては素晴らしい財産であり、肥前鹿島駅周辺整備の進捗に合わせ、地域の皆様と一緒に将来ビジョンを描いていくという気運の醸成が図られました。

長崎本線の新たなスタートから2年となる9月23日には、肥前鹿島駅周辺で子どもたちが公共交通に触れ合う機会を提供する「駅からGo! かしま公共交通体験フェスタ」を昨年に引き続き開催します。列車やバスの乗車体験をはじめ保育園児のアトラクション、移動動物園やキッチンカーの出店などを計画しています。家族で楽しめる1日となりますのでぜひご来場ください。

鹿島の玄関口である肥前鹿島駅を拠点として開催するこのイベントは、地

域公共交通の要である長崎本線が、沿線地域をゆっくりと楽しんでいただくスローツーリズムの柱でもあることを再認識するとともに、これからの鹿島・太良の盛り上がりを期待するものです。

長崎本線を含めこの地域の大切な財産を、しっかりと次代へ引き継いでいけるよう全力で取り組んでいきます。

【有明海沿岸地域の振興について】

次に、有明海沿岸地域の振興について申し上げます。

有明海沿岸地域は、高規格道路の整備が進み広域的な交通ネットワークが形成されることで、人流や物流のさらなる活性化が期待されています。

今回、沿岸地域の自治体が連携して地域全体の魅力を高めることで、交流・関係・定住人口を増加させ、産業の成長とともに地域全体が持続的に発展することを目的として、8月2日に本市を含む沿岸地域4県の26市町が参画し「有明海沿岸地域振興会議」が発足しました。これまでにない規模の広域連携体制が組織され、今後、スケールメリットを活かした振興策などに取り組んでいきます。

沿岸地域の振興には、地域の生産性を向上させ成長力を強化するのに重要な役割を担う「有明海沿岸道路」が必要不可欠です。

今回発足した「有明海沿岸地域振興会議」や沿岸地域の観光協会などが構成する「環有明海観光連合」と連携して「有明海沿岸道路福富鹿島道路」の早期整備と「鹿島諫早間」の早期事業化に向け、国や県に対して地元の声や熱意をしっかりと届けていきます。

以上、9月定例会の開会にあたり、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の

主要な施策について申し上げました。今後とも市民の皆様並びに議員の皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

【議案について】

それでは、提案する案件について、その概要を説明します。議案は、報告2件、決算認定6件、改正条例制定2件、補正予算4件の合計14件です。

【報告について】

はじめに、**報告第6号** 令和5年度鹿島市一般会計継続費精算報告書について申し上げます。これは、継続費に係る市民会館建設事業が令和5年度で終了したので、地方自治法施行令第145条第2項の規定により継続費精算報告書として報告するものです。

次に、**報告第7号** 令和5年度鹿島市土地開発公社決算について申し上げます。

決算の概要としては、令和5年度は公有地の取得及び売却の事業は実施していません。

その結果、損益については、事業外収益の10,505円から、一般管理費の14,095円及び事業外費用の510円を差し引き、4,100円の経常損失となっています。

この経常損失は、令和4年度繰越準備金で補填するものとして整理しています。

【令和5年度決算認定について】

続きまして、**議案第32号** から **議案第37号** については、令和5

年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計に関する歳入歳出決算となります。

はじめに、議案第32号 令和5年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。なお、決算については円単位であります。便宜上、千円単位で申し上げます。

令和5年度の歳入については、総額176億2,846万3千円となり、県支出金などの増により、対前年度比3.2%の増となりました。

一方、歳出については、総額172億9,692万円となり、扶助費などの増により、対前年度比5.2%の増となりました。

その結果、翌年度に繰り越すべき財源を差し引き、2億5,847万1千円の黒字決算となりました。

基金については、市の積立金である財政調整基金から1億7,100万円の繰り入れを行いました。12月の普通交付税の追加交付などにより、約2億3,100万円の積み立てを行いました。その結果、財政調整基金の年度末残高は約6,000万円増え、今後の財政運営に備えることとしています。

また、市債残高は、令和5年度末では約137億円ですが、償還費のうち、普通交付税で全額措置される臨時財政対策債を除けば、約95億8,000万円となります。

この償還費にも普通交付税により措置されるものがありますので、実質的に返済する金額は約55億3,000万円となっています。

本市の行財政運営の主要な部分を占める一般会計においては、今後も財政指標に留意しながら、健全な運営を行っていくことが重要であると認識しています。

次に、**議案第 3 3 号** 令和 5 年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

令和 5 年度の歳入の総額は、3 8 億 5, 7 4 3 万 2 千円、歳出の総額は、3 7 億 7, 1 9 5 万 8 千円で、差し引き 8, 5 4 7 万 4 千円の黒字決算となっており、令和 6 年度において国民健康保険基金へ積み立てたところです。

次に、**議案第 3 4 号** 令和 5 年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

令和 5 年度の歳入の総額は、4 億 8, 7 2 7 万 3 千円、歳出の総額は、4 億 8, 2 1 3 万 4 千円で、差し引き 5 1 3 万 9 千円の黒字決算となり、令和 6 年度会計へ繰り越したところです。

次に、**議案第 3 5 号** 令和 5 年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

この会計は、職員給与支給事務の簡素化を図ることを目的とした会計であり、水道及び下水道事業を除く一般会計及び特別会計のそれぞれの給与費決算額と重複した決算となっています。

次に、**議案第 3 6 号** 令和 5 年度鹿島市水道事業会計決算認定について申し上げます。

令和 5 年度の収益的収支については、純利益が 7, 3 1 8 万 4 千円生じたため、4, 3 1 8 万 4 千円を減債積立金に、3, 0 0 0 万円を建設改良積立金に積み立てることとしています。

また、資本的収支については、2 億 2, 3 4 1 万 9 千円の不足が生じたため、当年度分損益勘定留保資金などにより補填したところです。

次に、**議案第 3 7 号** 令和 5 年度鹿島市下水道事業会計決算認定について申し上げます。

令和5年度の収益的収支については、純利益が1,469万1千円生じたため、全額を減債積立金に積み立てることとしています。

また、資本的収支については、2億7,887万4千円の不足が生じたため、当年度分損益勘定留保資金などにより補填したところです。

以上、令和5年度決算認定についての説明を終わりますが、今後とも、効率的かつ効果的な行政運営、安定的かつ健全な財政運営の具現化を図る「行財政運営プラン」の着実な取組などにより、「第七次鹿島市総合計画」に掲げる主要施策の実現に向け、将来にわたり「持続可能な行財政運営」の構築に努めていきます。

【令和6年度補正予算案について】

続きまして、補正予算に関する議案4件について申し上げます。

まず、議案第40号 令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に1億8,017万6千円を追加し、補正後の総額を154億3,151万9千円とするものです。

歳入については、事業の決定、既存事業の追加や減少などに伴う、国・県支出金、分担金及び負担金、市債などの増減を計上するとともに、令和5年度決算剰余金としての繰越金などを計上しています。

歳出のうち主なものとしては、総務費では、令和5年度決算剰余金の確定に伴い、地方財政法第7条の規定により決算剰余金のうち2分の1相当額を財政調整基金への積立金として計上しています。

民生費では、保育所等の給食食材費等の物価高騰分に対する「保育所等給食費支援事業」や「低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業」を、衛

生費などでは、環境省からの事業採択を受け、太陽光発電設備やLED照明など省エネ設備導入への補助や公共施設への高効率空調設備の設置などを行う「地域脱炭素重点対策加速化事業」を、土木費では「里道橋維持管理事業」を、災害復旧費では、令和6年6月豪雨に伴う「現年発生農地農業用施設災害復旧事業」を計上しています。

このほか、株式会社ジェイエイビバレッジ佐賀様、幸姫酒造株式会社様からご寄附をいただいていますので、それぞれのご寄附の趣旨に従い、有効に活用させていただきます。

次に、**議案第41号** 令和6年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、歳出において保健事業費の療養費を増額し、同額を予備費で財源調整するものです。

次に、**議案第42号** 令和6年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、令和5年度決算に伴う繰越金と後期高齢者医療広域連合納付金を増額するものです。

次に、**議案第43号** 令和6年度鹿島市水道事業会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、水道料金改定に伴い収益的収入の給水収益を増額し、資本的支出の事務費に人事異動に伴う人件費を増額するものです。

【条例の制定について】

続きまして、条例に関する議案2件について申し上げます。

まず、**議案第38号** 鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の

制定について申し上げます。

これは、国民健康保険法の一部改正に伴い、マイナンバーカードと被保険者証が一体化され、被保険者証は廃止されるため、所要の改正を行うものです。

次に、議案第39号 県営土地改良事業負担金に係る分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

これは、佐賀県が行う土地改良事業に係る農地が目的外の用途に供された場合等に特別徴収金を徴収するため、所要の改正を行うものです。

以上、提案する議案の概要について説明しましたが、詳細については、ご審議の際、担当部長又は課長が説明しますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。